

（仮称）八千代町保健子育て複合文化施設_基本設計

令和8年 9月

概要版

設計方針 ・ ・ ・ P.1

計画概要 ・ ・ ・ P.2

配置計画 ・ ・ ・ P.3

平面計画 ・ ・ ・ P.4

環境計画 ・ ・ ・ P.6

外観パース ・ ・ ・ P.7

内観パース ・ ・ ・ P.8

「地域がつながる町民の発表拠点」

町民がいつでも気軽に集い、活動し、支えあう場 として地域がつながる複合施設



鳥瞰

町民の誇りとなり、地域が発展する拠点

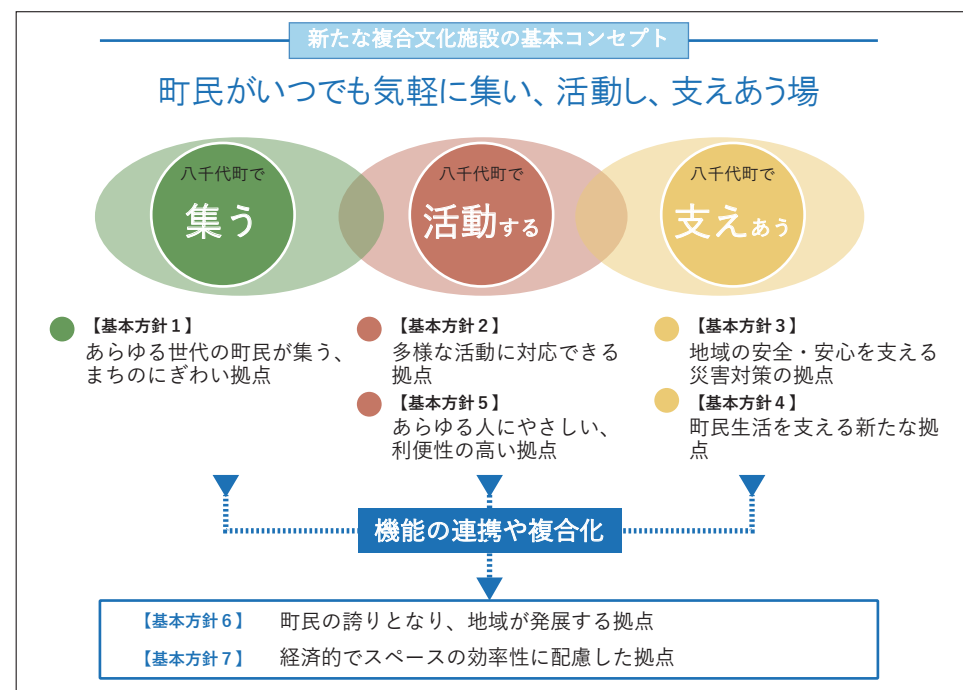
■ 地域の誇りとなる「にぎわい拠点」の創生

・事業区域周辺では夏まつりや秋まつりが開催され、既存中央公民館はイベント拠点のひとつとなっています。新施設でもそれらを継承することで事業周辺区域と一体となった「にぎわい拠点」を創生します。

■ にぎわい拠点 = 町民活動の発表

・お祭りやイベントは、日頃の町民活動の発表の機会と捉えることができます。式典や音楽会など様々な発表を行える多目的ホールや、地域のサークル活動等が行える様々な諸室を整備します。

・新たな町民発表の場をつくり、事業区域周辺のまつりの拠点と一体とすることで、町民発表の軸を形成します。発表の機会が多くなることで、町民同士が刺激し合い、地域の発展につなげることのできる施設を目指します。



新たな複合施設の基本コンセプト_基本構想抜粋

経済的でスペース効率性に配慮した拠点

■ コンパクトなスペースづくりによる効率的な施設

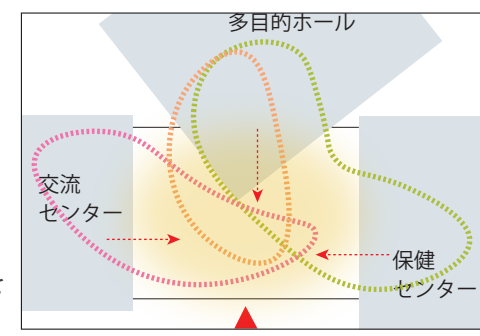
・諸室は機能ごとにまとめて配置しスペース効率を上げ、共用部に還元することでフリーなスペースが生まれます。

・フリースペースは様々な活動に対応し、サードプレイスのようなフラットと立ち寄って過ごせる場づくりにつなげます。

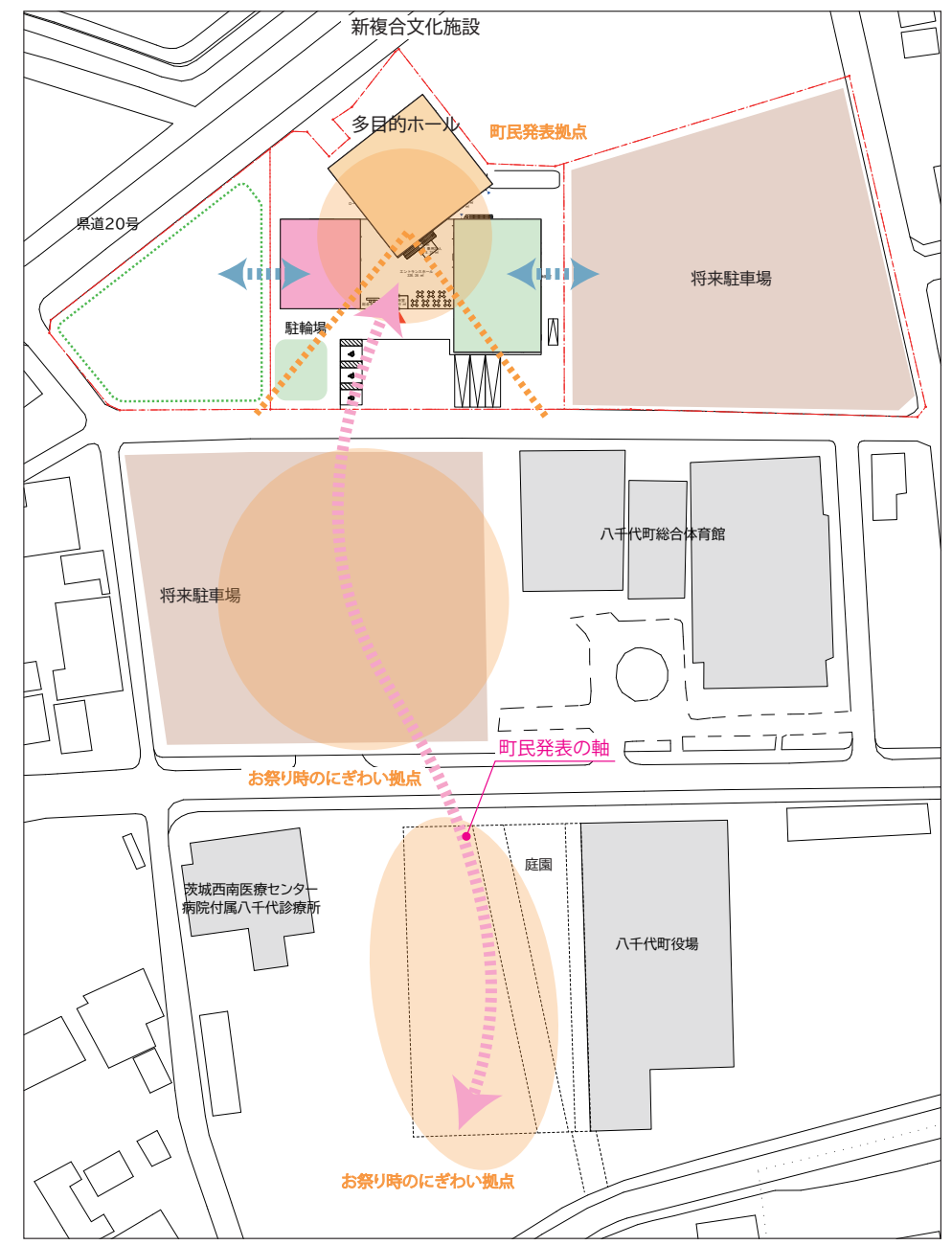
・移動間仕切りを設けるなど多用途に利用できる諸室を計画しコンパクトな施設づくりを行う事で効率的な拠点づくりを目指します。

■ 自然環境を利用した経済的な施設

・太陽光発電や庇・ルーバーを用いた日射遮蔽による空調負荷低減、自然通風利用による換気など、エネルギー効率の高い施設を目指します



共用部ダイアグラム



町民発表の場ダイアグラム

※基本設計説明書に記載されている施設の概要や計画内容については、今後の検討の中で変更が生じる場合があります。

2 計画概要

■ 敷地条件

所在地	茨城県結城郡八千代町大字菅谷 1029 番地
敷地面積	9414.68 ㎡
事業面積	4,373.08 ㎡
接道条件	北側 町道 3815 号 6.0m 東側 町道 3065 号 7.0m 西側 県道結城坂東線 20 号 18.0 ～ 19.0m
区域指定	都市計画区域 市街化区域
用途地域	第一種住居地域
許容建ぺい率	60%
許容容積率	200%
防火地域	指定ナシ
日影規制	測定面 4.0m/ 等時間日影 5 時間・3 時間
その他地域規制	八千代中央・東原地区地区計画【行政サービス地区】 盛土規制法対象区域
上下水道	水道供給可能区域、公共下水道区域
雨水	宅内処理
電気	町道電柱より引込
ガス	プロパンガス

■ 建築概要

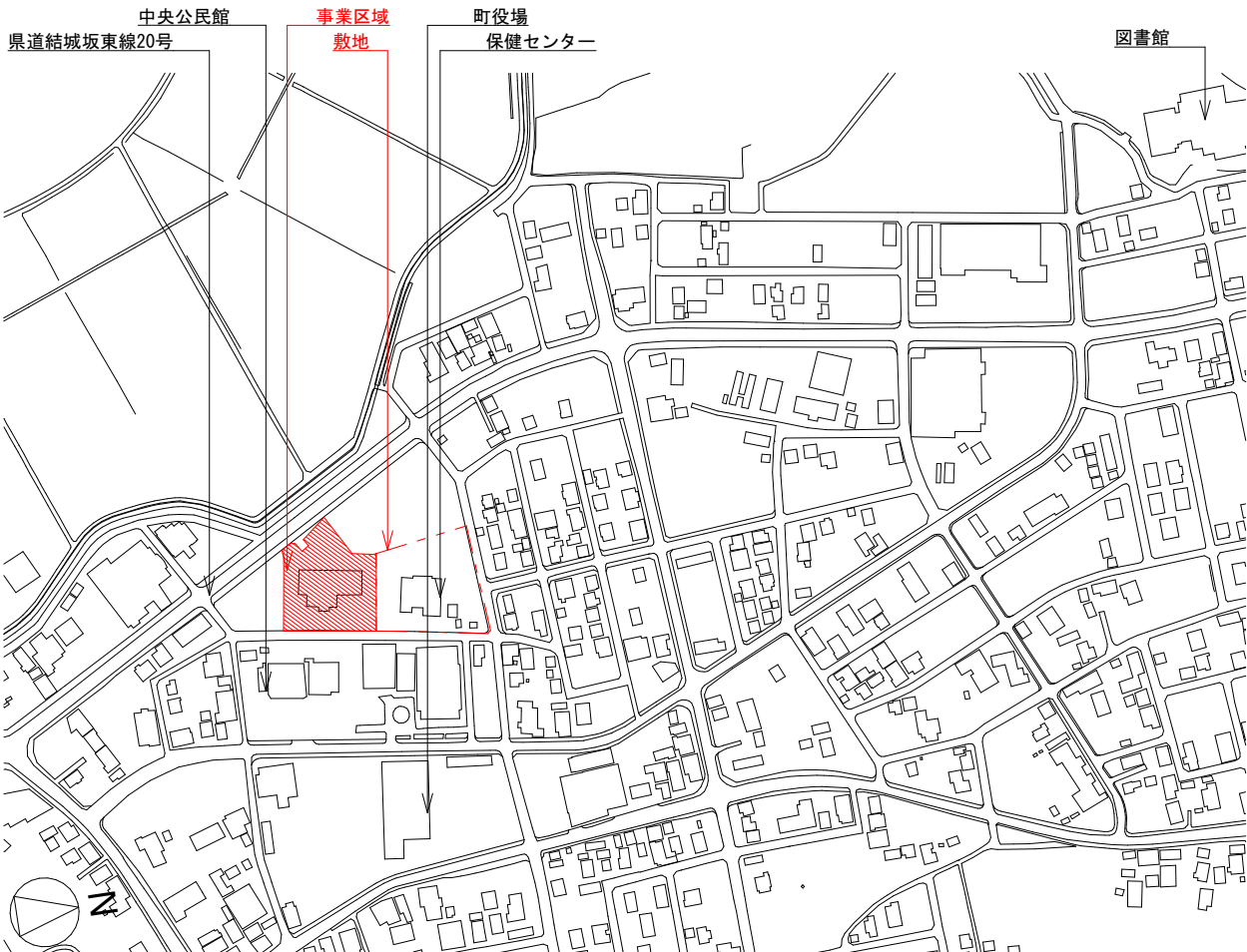
工事種別	増築
用途	集会場、保健センター、遊戯場
建築面積	2,179.72 ㎡
延床面積	1 階：1,950.69 ㎡ 2 階：1,256.56 ㎡ 合計：3,207.25 ㎡
主要構造	鉄筋コンクリート造
基礎形状	杭支持直接基礎
耐震安全性の分類	構造体Ⅱ類、建築非構造部材 A 類、 建築設備乙類
耐火・準耐火	耐火建築物
昇降機	乗用 24 人乗りEV 幅 1500 奥行 2300
電気設備	受変電設備、非常用発電設備、太陽光発電設備等
空調・換気設備	空冷ヒートポンプパッケージ方式、全熱交換器等
給排水・衛生設備	水道直結給水方式、水洗便器等
消防設備	自動火災報知機、屋内消火栓、消火器等
環境性能	ZEB Ready 基準相当
駐車場	3 台
駐輪場	20 台

■ 現況敷地周辺状況

- ・計画地は行政関連施設が集積する場所に位置しており、県道と町道に挟まれた場所にあります。県道と町道で 1.0m 程度の高低差があり、土盛り等で処理しています。
- ・既存の保健センターや中央公民館は新施設建設後に解体される予定であり、駐車場の多い周辺状況から開けた建物となります。



周辺画像範囲



付近見取り図

機能名	面積表	
	諸室等	面積
地域交流センター	多目的ホール 調整室・調光室 器具収納 控室 調理スタジオ 会議室 学習室 和室 スタジオ 音楽スタジオ 地域交流センター事務室 ボンベ庫	2,076.16㎡
	複合施設共用部 (管理エリア含む按分面積)	
	健診ホール 健康指導室 診察室 検査室 調理室	
	保健センター事務室 相談室 検診車用駐車場	
	複合施設共用部 (管理エリア含む按分面積)	
子育て支援	遊戯室 複合施設共用部 (管理エリア含む按分面積)	230.04㎡
	複合施設面積合計	3,207.25㎡

機能別面積概要表



周辺画像 - ①



周辺画像 - ②



周辺画像 - ③



周辺画像 - ④



周辺画像 - ⑤



周辺画像 - ⑥

※基本設計説明書に記載されている施設の概要や計画内容については、今後の検討の中で変更が生じる場合があります。

3 配置計画

- ・敷地や事業区域に合わせた建物配置を計画します。
- ・既存施設エリアに予定される将来駐車場を考慮のうえ、建物付近はバリアフリーやユニバーサルに配慮した駐車場のみとし、事業区域内の建物面積率を高め、諸室にアプローチしやすい2階建てとしています。
- ・交通量の多い県道を避け、比較的アプローチが容易で他の行政施設に面した東側町道から様々なアプローチを行う計画です。



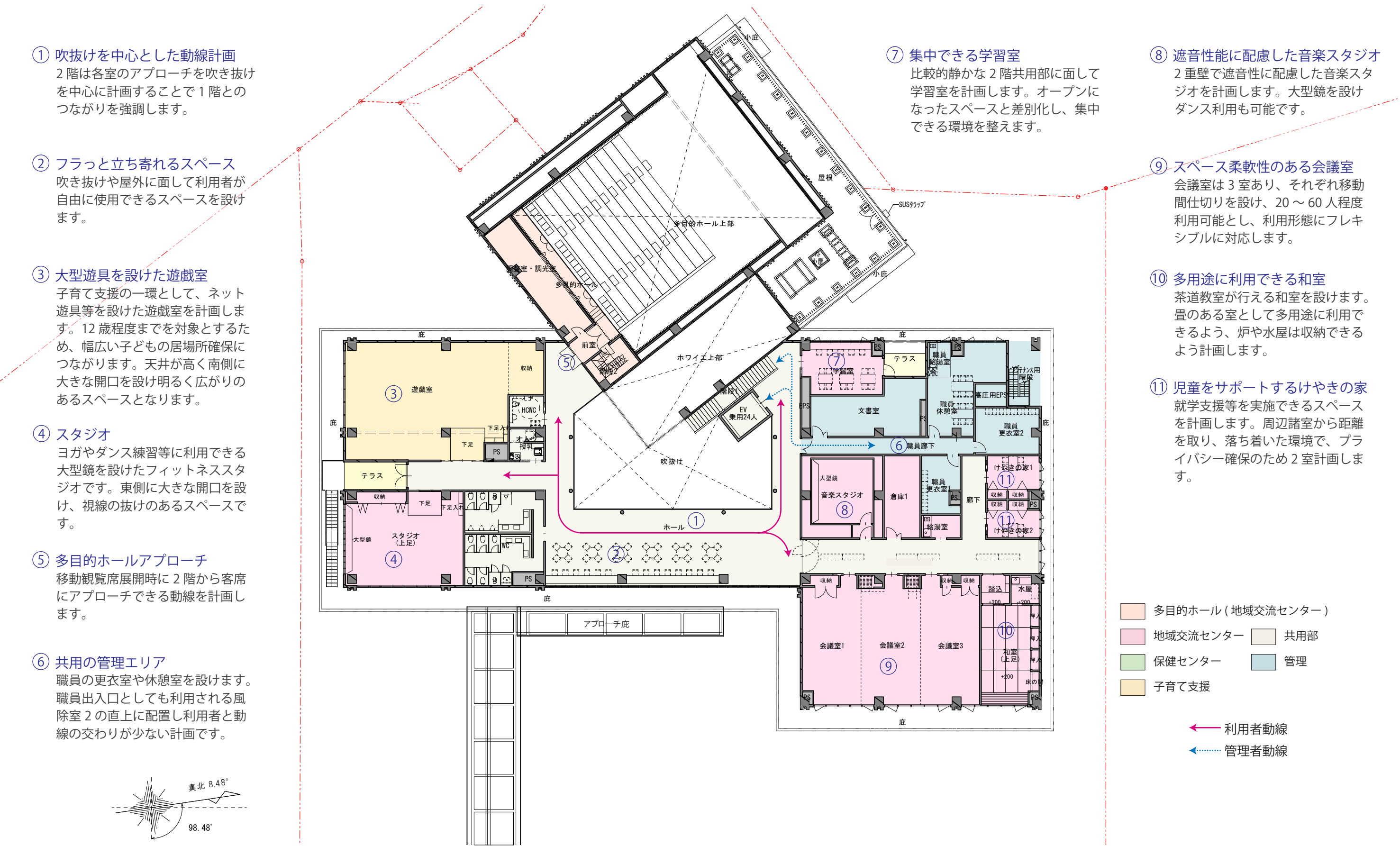
4 平面計画 -1 階

- ・明瞭に各機能をゾーニングしています。風除室に入ると「どこに何があるか」が分かる構成です。
- ・エントランスホールはカフェ等フラッと立ち寄れるスペースになるほか、多目的ホールのイベントや保健センター検診時には待合スペースとして利用するなど柔軟に対応できる計画とします。



5 平面計画 -2 階

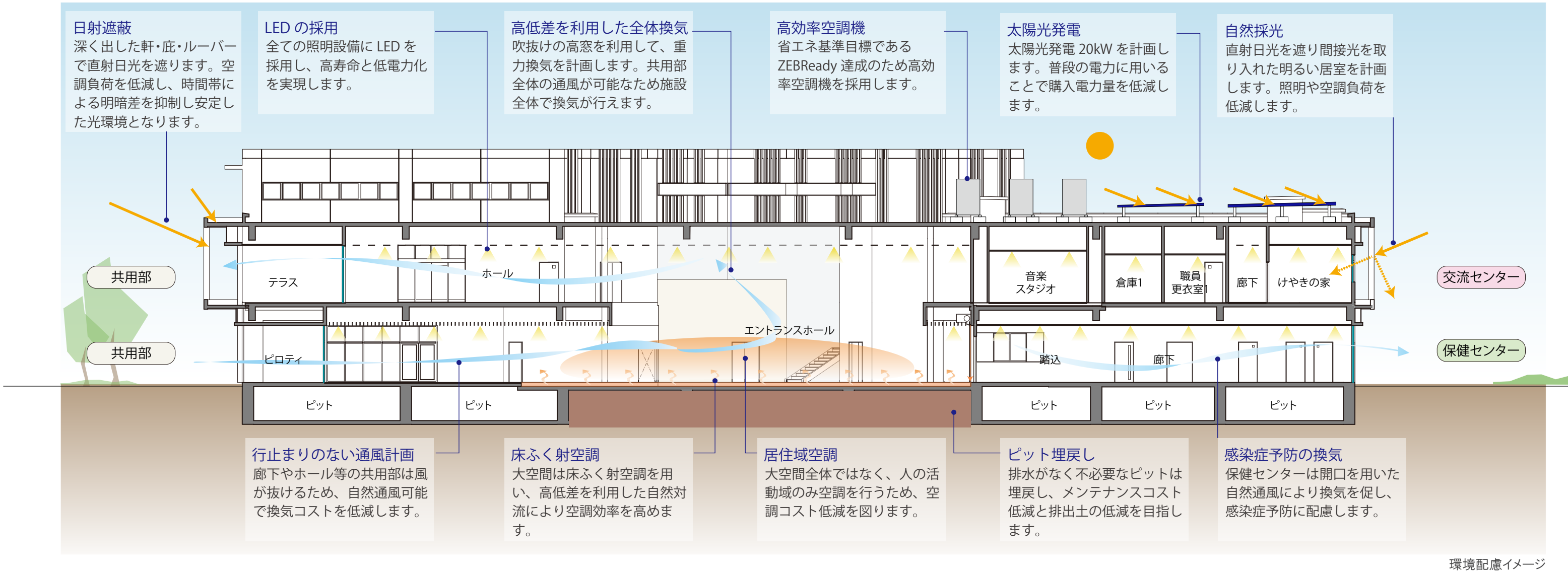
- ・吹き抜けのあるホールを中心とした動線計画です。諸室の利用用途と眺望や明るさに合わせ配置しています。
- ・だれでも過ごせるスペースや学習室、遊戯室、大人のクラブ活動等老若男女が滞在できる計画となります。



2階平面図 scale1/300

6 環境計画

- ・ 太陽光 / 自然採光 / 自然通風など地球環境を利用し、機械エネルギーを低減した環境計画を行います。
- ・ 省エネと合わせ施設利用者が健やかに過ごせる居住環境を整えます。



7 _ 外観パース

- ・事業区域は八千代中央土地区画整理事業地内にあり、地区計画の【行政サービス地区】に分類されていることから、公共公益施設として、シンプルで力強い外観計画を提案します。
- ・町道側は地域に開くようなオープンな計画で、県道側は視認性が高いことを配慮し、建物として主張するような象徴的な計画とするなど、それぞれの道路に面してメリハリを付ける建物を目指します。



外観 _ 東面



外観 _ 西面

8 _ 内観パース -1

- ・内装は施設共通で木質を最大限活用するためモトーンを基調とした計画とします。木部を活かすことで温かみのある内装を目指します。
- ・エントランスホールや多目的ホール等の大空間は地震時の落下を防ぐため、天井は設けず、木のルーバーを設置します。多目的ホールは壁にも採用し凛とした表情をつくります。



内観_エントランスホール -1



内観_エントランスホール -2



内観_多目的ホール -1



内観_多目的ホール -2

9 _ 内観パース -2

- ・各居室も施設の内装計画に合わせるよう、木調を活かしたモトーンを基調とし、大きな窓を設け明るい室を目指します。



内観 _ 会議室（交流センター）



内観 _ 健診ホール（保健センター）

- ・遊戯室は基本対象年齢を3～12歳とし、高い天井で立体的に遊べる大型遊具を計画します。
- ・見守りスペースも配置するため、保護者同士の交流の場にもなります。



内観 _ 遊戯室（子育て）-1



内観 _ 遊戯室（子育て）-2

※基本設計説明書に記載されている施設の概要や計画内容については、今後の検討の中で変更が生じる場合があります。